令和（　５　）年度　教科（　美術　）　　第（　１　）学年　年間指導計画

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を豊かにし，美術の基礎的な能力を伸ばし，美術文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力，資質・能力）

郷土の豊かな自然やそこから生み出された作品の美しさを味わい，自らの造形感覚を養うとともに，表現活動の基本的な技能を身に付け，創意工夫して，創造的に表すことができるようにする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 ５段階評定
評価内容	既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり，技能を習得したりしているか	教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり，思考力，判断力，表現力を身につけたりするために，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，学ぼうとしているか	5　90%以上 4　80%以上 3　50%以上 2　20%以上 1　20%未満
評価方法	定期テスト 作品 ワークシート 授業の様子	定期テスト 作品 ワークシート 授業の様子	定期テスト 作品 ワークシート 授業の様子	
観点別到達度（%）	A 80%以上　B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	鑑賞「美しいものを発見しよう」	生活の中で目にしたものから「美しい」と感じたものを見つけ出し，「美」とは何かということを考える。	1	
	5	絵画「デッサン」	鉛筆デッサンの基本的な技能の習得。	4	
		鑑賞「小林千古」	郷土が生んだ洋画の先駆者の生涯と作品を鑑賞する。	1	社会
	6	デザイン「レタリング」	レタリングの基礎技能の習得。	2	総合的な学習の時間
	7	「絵文字」	形と色彩を工夫し，楽しい絵文字を作る。	4	
	8	期末試験		1	
	9	鑑賞「四國五郎」	「ヒロシマ」の画家四國五郎の生涯と作品を鑑賞する。	1	総合的な学習の時間
		デザイン「色彩の学習」	色の仕組みを学び，効果的に色彩を用いることができるようになる。	8	理科
	10	鑑賞「日本の工芸品」	伝統工芸品の美しさを味わう。	1	社会
	11	工芸「木のマグネットクリップ」	木のよさを生かし，日常生活の中で使うものを作る。	7	
	12	鑑賞「広島の美術」	身近な美術館に所蔵されている作品の鑑賞。	1	総合的な学習の時間
3	1	期末試験		1	
		鑑賞「日本の彫刻」	彫刻の歴史と彫刻家「荻原碌山」の作品鑑賞。	1	
	2	彫刻「本物そっくりに作る」	加工ねんどを使って，身の回りにあるものを本物そっくりに立体造形する。	１１	
	3	期末試験		1	
総時数	（　４５　）時間				

令和（　５　）年度　教科（　美術　）　　第（　２　）学年　年間指導計画

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を豊かにし，美術の基礎的な能力を伸ばし，美術文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力，資質・能力）

郷土の豊かな自然やそこから生み出された作品の美しさを味わい，自らの造形感覚を養うとともに，独自の主題を設定し，身に付けた技能を活用して創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 ５段階評定
評価内容	既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり，技能を習得したりしているか	教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり，思考力，判断力，表現力を身につけたりするために，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，学ぼうとしているか	5　90%以上 4　80%以上 3　50%以上 2　20%以上 1　20%未満
評価方法	定期テスト 作品 ワークシート 授業の様子	定期テスト 作品 ワークシート 授業の様子	定期テスト 作品 ワークシート 授業の様子	
観点別到達度（%）	A 80%以上　B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	鑑賞「ヴィーナスの夢」	広島県立美術館収蔵作品を読み解く。	1	社会
	5	デザイン・絵画 「モダンテクニック」	多様な技法を用いた平面表現。	5	
		「イラストレーション」	「モダンテクニック」を使ってイラストを描く。	4	総合的な学習の時間
	6				
	7	期末試験		1	
	8				
2	9	鑑賞「版の表現」	版画作品の鑑賞を通して様々な版画技法を学ぶ。	1	
		絵画「木版画」	光と影で立体的に表現する一版単色刷り木版画の制作。	6	
	10	鑑賞「木彫レリーフ」	木彫レリーフ作品の鑑賞。	1	
		彫刻・工芸	浮き彫りの技法をつかって立体表現をする。第１段階（物の形が四角く突出する）まで	5	
	11	「木彫レリーフ」			
	12	期末試験		1	
3	1	彫刻・工芸 「木彫レリーフ」	彫刻の完成と塗装。	7	技術
	2	鑑賞「この一点」	美術作品を一点選び，作品や作者について調べ，リーフレットにまとめる。	2	国語 総合的な学習の時間
	3	学年末試験		1	
総時数	（　３５　）時間				

令和（　５　）年度　教科（　美術　）　　第（　３　）学年　年間指導計画

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を豊かにし，美術の基礎的な能力を伸ばし，美術文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。

【教科のゴールイメージ】（つけたい力，資質・能力）

鑑賞を通して美しい自然やそこから生み出された作品を持つ郷土を誇りに思う気持ちを身に付ける。これまで養ってきた造形感覚と身に付けた技能を最大限に発揮し，創意工夫して創造的に表すことができるようにする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 ５段階評定
評価内容	既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり，技能を習得したりしているか	教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり，思考力，判断力，表現力を身につけたりするために，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，学ぼうとしているか	5　90%以上 4　80%以上 3　50%以上 2　20%以上 1　20%未満
評価方法	定期テスト 作品 ワークシート 授業の様子	定期テスト 作品 ワークシート 授業の様子	定期テスト 作品 ワークシート 授業の様子	
観点別到達度（%）	A 80%以上　B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元，教材名	小単元，学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	鑑賞「水墨画」	日本における水墨画の歴史と名品の鑑賞。	1	社会
	5	絵画「水墨画」	運筆の習得と作品制作。	4	
	6	鑑賞「船田玉樹」	広島出身の日本画・水墨画家の生涯と作品の鑑賞。	1	社会
	7	工芸「篆刻」印の制作	水墨画のしきしに押す印章を作る。	5	
	8	期末試験		1	
	9	鑑賞「靉光」	３点の自画像を残して出征，上海で戦病死した画家の生涯と作品の鑑賞。	1	社会
	10	絵画「自画像」	１５歳の自身の像をドライポイント版画で表現する。	5	
		鑑賞「イサム・ノグチ」	広島とのかかわりも深い彫刻家の作品を鑑賞。	1	道徳
	11	彫刻・工芸「篆刻」 持ち手の彫刻	篆刻の印の持ち手の部分の彫刻を制作する。アイデアから荒彫りまで。	5	
	12	期末試験		1	
3	1	彫刻・工芸「篆刻」 持ち手の彫刻	細部の彫刻と研磨仕上げ。	8	技術
	2	鑑賞「明日の神話」	岡本太郎の大作を読み解く。	1	社会
		学年末試験		1	
	3				
総時数	（　３５　）時間				